

会 議 録

会 議 名 (付属機関名等)		第11回 キセラ川西エコまち協議会交通部会
事 務 局 (担当課)		土木部 キセラ川西推進課
開 催 日 時		平成30年10月26日 13時30分～15時00分
開 催 場 所		川西市役所 4階庁議室
出 席 者	委 員	松村、尾崎、岡田、松野、中垣、五島、北野
	そ の 他	(オブザーバー) 加美田、松塚、伊崎
	事 務 局	酒本、宮定、寺田、福庭、池永、嶋田 小倉、大崎 (コンサルタント)
傍聴の可否 傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由		可 傍聴者数 0人
会 議 次 第		1 開会挨拶 2 議事 ・駐車場共用化と運用 (資料1) ・公共交通利用促進 (資料2) ・サイン計画の基礎調査 (資料3) ・今後のスケジュール (資料4) 3 閉会挨拶
会 議 結 果		別紙審議経過のとおり

審 議 経 過

1. 開会挨拶

○事務局

・改めて皆さん、こんにちは。午前中のエコまち協議会から引き続きの方も居られると思いますが、ご苦勞さまで。長時間にわたりまして恐縮ですが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

この交通部会は、エコまち計画の中の交通分野、5つある分野のうちの1つですが、それを推進していくために設置されて、平成25年以降松村先生にお世話になっているという状況でございます。公共交通の利用を促進していくということを目標に掲げてスタートしております。ただ、最近、議論をするのは、何で公共交通を促進するのかというベースの部分で私自身が疑問に思っているところがあります。それはこれを立ち上げたときには国を挙げてCO₂の削減だと言っていました。ところが、近年あまり聞かなくなっているのです。電気自動車が増え、バスに乗るよりも電気自動車に乗ったほうがエコに決まっているわけですね。こういう状況から考えると、漏れ聞こえてくるのは経済損失です。渋滞が起こると時間を損失するから、それを金に置き換えたらどの程度かということが聞こえてくるようになってきているのではないかと思っています。そういうことを考えると、公共交通を利用するのは何でかという目的がぶれてきているのが気づかずに行っているのではないかと、そんなことを考えたりしています。この部会で今日報告させていただくように、駐車場を共用利用すると渋滞緩和できるということがあったので取り組みました。しかし、なかなかステークホルダーが揃わなかったり、残念ながら市内の調整が十分にいかなかったりというところで難しい結果になってしまったという残念な状況もあります。ただ、やはりこのキセラの区域の中、それぞれの事業者さんがそれぞれのルールに基づいて駐車場を設置されておられますけれど、公園もどんどん利用促進をしていきたいということは先ほどの協議会でもあったのですが、公園に駐車場は設置しておりません。いずれにしても車でドッと来られると破綻してしまうので、キセラに来られるときには公共交通を利用してください、そういうような考え方に立てばキセラで公共交通を利用促進していこうというインセンティブは働いていくのかなと思っています。この交通分野はキセラだけでは完結せず、中心市街地活性化の基本計画の区域があるのですが、約80haに範囲を広げてこの交通分野は取り組んでいくということがあります。近年、電車に乗っているとバスの運転手を大々的に広告で募集していて、本当に運転手さんが少なく、人件費がかかるので補助金を上げてもらえないかみたいな話があるのです。最初は何を言っているのかなと思ったのですが、本当に人が足りないという、そんな要素もそれぞれの事業者さんはお持ちのようですので、公共交通の利用促進が実現すればもちろん乗客が増えて交通事業者さんにとってもメリットがあることだと思いますし、ぜひこの部会から何か発信できるものがあると思ひます。またこの部会として取り組むテーマというものもしっかりと見据えてやっていけたらなと思ひますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。

2. 議事

① 駐車場共用化と運用

○部会長

- ・ それでは議事に移りたいと思います。まずは「駐車場の共用化と運用」ということで、事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・ 資料説明（資料1）

○部会長

- ・ ありがとうございます。
- ・ それでは、質問等、いかがでしょうか。
- ・ 説明にあった、医療施設に駐車場を設けないというのは、共用するような駐車場は設けないという意味なのですか。

○事務局

- ・ 現状では従業員用の駐車場は数台で、共用できるような数百台の駐車場は今のところ設けない方向性であると聞いています。

○部会長

- ・ 通院者の駐車場は設けないということですか。

○事務局

- ・ 設けないと聞いています。

○部会長

- ・ なかなか斬新ですね。これで、渋滞して交通部会で何とかしろというのは無理ですね。

○事務局

- ・ 政治的な話もあるので、適切に理解していただくように説明させていただきますと、もともとこの土地には民間の病院が出てくるということで一旦決まりました。その後、病院は病院なのですが、市民病院にするということで大きな方向、内容が変わりまして、そのときに規模が大きくなりました。ところが敷地の面積は決まっておりますので、設計の関係でどうしても駐車場が取れなくなったと聞いております。新しく計画されている病院には、来訪者の駐車場は設置されないということを既に公表されているという状況です。

○部会長

- ・設置基準というのは設けていないのですね。駐車場の共用化以上にこの問題はかなりインパクトが大きいです。周辺道路で渋滞が発生すればバスも遅れます。あそこの路線が止まると幹線ですから阪急バスも遅延するでしょう。小学生が考えてもわかると思います。午前中に集中するでしょう。ここで言ってもしょうがないですが、少なくとも交通部会でこの渋滞緩和を何とかしろと言われても難しいです。予算を何十億もつけてくれるのだったら話は別です。

○委員

- ・私どもも、この交通部会での内容を、事業を進めている部署には説明を申し上げており、部会長がおっしゃったとおり、あり得ないということはずっと言い続けてはいたのですが、なかなか通じなかったというのが現状です。申し訳ございません。

○部会長

- ・これで皆さんが公共交通で来てくれたらすごいモデルになると思うのですが、相当の工夫をしなければいけないです。相当、公共交通を使いやすくしないといけないでしょう。
- ・その話は置いといて、駐車場の共用化ということでいろいろ検討いただいてご苦労いただいたのですが、資料の裏面にあるような公共系の施設のところでは実現できそうだということですね。医療施設を除いてはということですが。
- ・民間系のところが少しできなかったというところで、エリア全体では共用化はできなかったのですが、南の部分ではできるようになりました、という方向だと思います。何かご質問、提案があればいただきたいです。
- ・公共施設ができたということは半歩前進です。当たり前ですが。とは言え、放っておいたらガタガタかもしれないので、交通部会が立ち上がったお陰でいろいろ話に行ってください、関係者の方にもこういうこともしなければいけないのかなと思っていただけて、こういう利用形態を共用化できたというのは1つの成果かなと思います。
- ・日常的に使っているときには恐らく複合施設なり、近いところに止められるのでしょうけれども、それが少し混んできたとか大きなイベントをするときにはかなりうまく分散してくれるといいかなと思います。誘導は満空表示ぐらいでしょうか。こういうような形ですが、どうでしょうか。

○委員

- ・オアシスさんが来年9月にオープンということなのですが、今、部会長が言われたように誘導という形の中で1つ懸念されるのがキセラの駐車場の北側に商業施設ができますよね。そうなった場合に、ここで言うと左折入場という形にされていると思うのですが、道路に分離帯が確か無かったと思うので、右折入場される車も多々出てくるのではないのでしょうか。週末になると、たく

さんの利用者が来られるように思うのですが、その辺で何かお考え、もしくはオアシスさんのほうで何か、というものが川西市さんとお話が出ているのでしょうか。そうでないと、これは場合によっては警察が指導に入ってくることになるのではなかろうかと思うのです。今のところそういう話し合いというのはされているのかどうか教えていただければと思います。

○部会長

- ・いかがでしょうか。

○事務局

- ・オアシスさんが、大店法の関係等で交通管理者や道路管理者等のいろいろな協議の中で左折入場という形状のもとで計画されております。そういった中で川西市の道路管理課とか、管理者との協議の中で進めておられます。今、言ったような懸念についてはオアシス側の責任として、ガードマンをつけるなど、いろいろなことをされるということを聞いておりますので、ある程度きちり守っていかれるとは考えております。

○部会長

- ・そうですね。実質の運用はなかなか微妙なところですが、左折で88台のところに入ってもらってもいいよみたいになったほうがぐるぐる回るよりもうろつく交通が減ってエリア的には良いと思うのですが、それだと、この88台がオアシスのための駐車場という話になって変な話になってしまいます。220台の部分もそうですよね。そこは多分お客さんが適切に考えるのだらうと思います。
- ・説明にあったように積極的には誘導しないんですね。公共施設で設置している駐車場に積極的には誘導しないけれども、そこに止められた分については1時間無料にするというような措置を取られるんでしょうね。阿吽の呼吸でという感じですね。左折で入ろうとするとぐるぐる回さなければいけないですね。
- ・他にいかがでしょうか。いろいろ検討を進めてまいりましたが、公共系の施設の共用エリアで駐車場の共用化ができたということで、民間のほうは少し難しかったということになってしまったわけですが、交通部会としていかがですか。もっとこれならできるのではないか、というものがあれば良いですが、私もこれ以上ちょっと難しいかなと思いますので、よく頑張っていたいただいた結果かなと思います。
- ・一番の懸念は医療施設ですね。皆さんよくご存じだと思いますが、そのあたりは頻繁に警告を出しておかないといけません。交通部会に持ってこられても困りますし、このエリア自体のことにされても辛いです。エコまち協議会も含めて、さすがに困ると思います。
- ・それでは、議題の最初の駐車場の共用化は交通部会としてもこういう形でお認めしたいと思います。

②公共交通利用促進

○部会長

- ・2番目の「公共交通利用促進」ということで、先ほど部長からもお話がありましたように、公共交通利用促進の意義です。最近であれば、公共交通網形成計画であったり、立地適正化計画であったり、国を挙げて公共交通の利用促進を図っている時代です。幸いにも京阪神や首都圏は、公共交通が今のところ堅調に動いているようですが、かなり人口減もありながら利用者数自体が減っていく可能性の確率が高いというところで、公共交通を残していくことを考えていくと、今からまちづくりにも手を打っていかないと将来的に非常に難しい状況になるのではないかとという懸念があるので、一生懸命動いているというような状況だと思います。
- ・川西市でも公共交通基本計画を作り、自転車に関しては自転車道整備ネットワーク計画を作られたということで、交通系のさまざまな計画を作られています、1つのアクションプランとしてキセラのほうでも動こうとしていました。そのあたりの報告をいただきたいと思います。それでは事務局からよろしく願いいたします。

○事務局

- ・資料説明（資料2）

○部会長

- ・ありがとうございます。各所にご協力をいただきましてありがとうございました。公共交通の利用促進ということで様々なポスターやチラシ、イベント告知、車内ポスターを協力いただいたということですが、いかがでしょうか。何か質問があればぜひお願いしたいと思います。もしくはこんなのはどうというのがあればお願いします。
- ・小さい話ですが、ロゴの地図が道路のほうが目立っている感じがします。これだと国道176号で来るようにという感じがしないでもないのですが、もう少し能勢電とJR、阪急を目立たせるほうが良いと思います。
- ・今の行政計画は色々ありますが、その中でこのキセラでできそうなことというのは何かないですか。事務局のほうでこんなことを考えているというのがあれば、軽い気持ちで話していただいて良いのですが。公共交通網形成計画は作られるのですか。

○事務局

- ・今年度から交通政策課が新しく立ち上がって、それが土木部に所管されています。これまでもそういう部署はあったのですが、公共交通基本計画に基づいて施策を展開していた側面があるのですが、交通政策課が立ち上がり、改めて交通ということを見たときに公共交通に乗るための人の移動のしやすさ利便性というのは今まで全く考えられていませんでした。それをセットで考えていくようにしようということで、今までの公共交通基本計画の見直しも含めて取り組み始めたこと

というような状況があります。

- ・冒頭のキセラの役割ということなのですが、キセラだけではなく、キセラを含む中心市街地の関係として、回遊性のお話であるとか、あるいは能勢口から今の協立病院に行くルートにベンチが欲しいという要望があり、それに対して現地を調べてみますと、民間のお店にベンチが少しではあるが置いてあります。歩道にもあったりして、それらを包括するとベンチは結構あるんです。ベンチが欲しいという高齢者やいろいろな方のニーズに応えるには、そういう状況を見て、民地側で土地を協力していただけたところにベンチを置けばそういうことも促進できるのだろうということに気がつき、そういうことを包括的にやり始めたというような背景があります。その中でキセラの役割、今申し上げたようなことを踏まえて、キセラとして何ができるのかと考えています。

○部会長

- ・ありがとうございます。基本は公共交通基本計画でいいと思います。非常に話がわかりやすく、川西市はV字型です。能勢電があって、こちらに阪急バスの幹線があって、そこまで集まってきて、そこから広域をJRと阪急で動くという非常にわかりやすい構図です。しかも山間部と平野部があって、山側のところはバスの横移動で駅もしくはバス停まで、幹線バスのほうへ集めてきています。平野部のところは自転車等でつなぐというのはわりとわかりやすい構図だと思うので、巷を賑わせている公共交通網形成計画はすぐできると思います。事務局レベルでも多分すぐできるのではないかと思いますし、コンパクトシティについても、もうここしかないですから。どう考えたってこの地域に集めるしかないの、そういうのもすぐできるなと思います。そんなに難しい話では多分ないだろうと考えた時に、部長がおっしゃるように、ここでの実践だと思えます。いかに中心部に人を集めてくるとか、いかに公共交通で人を集めてくるのか。ここに集まっていく理由がないといけないので、それがキセラか川西能勢口の周りなのでしょうか。エコまち協議会のときにもお話ししたが、もう少し別のところに移動していくというのもありだと思えます。そのあたりの取り組みをいかにやっていくのかというのがキセラのこれからの公共交通の利用促進だと思うので、交通部が何かを特にするというよりも、むしろ川西市のキセラのところで行っているいろいろな行事自体がアクションなので、そこに来る人にいかに情報をお伝えするのかに関心を持ったほうが良いとは思っています。その他、絹延橋から歩いたら行けるよねとか、日高町のところで降りたら近いなど、そういうのをきちんとお伝えするというのがまずは重要であって、そのために今こういうマップなども作って、各協力などもしていただいているということだと思います。エコまち協議会の加藤先生もおっしゃっていましたが、もうちょっと何かできればみたいな感じですね。
- ・そこには自転車施策があるかなと思うのですが、駐輪場はキセラの中のどこにありましたか。

○事務局

- ・公園には60台ほど駐輪場があり、複合施設のキセラ川西プラザにもあります。

○部会長

- ・多分前にもお話ししたと思うのですが、キセラで1日過ごす際の過ごし方ですね。そこが提案できて、そのためにどこに自転車を置いたり、どこでバスを降りたり鉄道を降りたり、というところがイメージしやすいような形で駐輪場等を整備したほうが良いでしょうし、場合によってはレンタサイクル、シェアサイクルなどもあるかなと思います。事務局で何かアイデアはありますか。

○事務局

- ・キセラの範囲を超えてしまうのですが、今の交通政策課の中で駐輪場のあり方も考えていて、JRの北伊丹駅、川西池田駅、川西能勢口と駐輪場の運営がバラバラになっていて、とりわけ能勢口に関する川西池田の駐輪場があり、そこをレンタサイクルの拠点にできないか、ファーストフード的などが出店をしたい意欲もあるということもマーケティング側ではあったようです。川西能勢口駅の西側にも駐輪場があるのですが、そこも単に駐輪場を貸しているだけで、自由に移動できる主婦層も移動に不便を感じているというお話があります。川西能勢口ぐらいだったら電動自転車を例えば100台規模でレンタサイクルが事業ベースに乗ってくるような話も実はございました。そういう話が一方でもあるので、それとキセラとの関係をうまく連携させていくことをやろうとしています。情報提供です。

○部会長

- ・確かにいろいろ可能性はありそうな気がしますね。
- ・阪急電鉄さんはレンタサイクルされていますよね。どんな感じ、堅調にという感じですか。

○委員

- ・阪急電鉄が運営しているレンタサイクルは他の駅も数は少ないですが、それなりに稼働はしています。

○部会長

- ・それを増やそうという話はないですか。

○委員

- ・場所的に増やすところがないです。

○部会長

- ・JRさんはどうでしょうか。

○委員

- ・駅のレンタサイクルでそういうのをやっており、隙間地があるところでやっている駅がいくつかあります。積極的に駅のレンタサイクルをするかという、需要的にそこまではないです。

○事務局

- ・JRさんは昔にやっておられますね。

○委員

- ・はい以前はやっていましたが、現在は、積極的にはないということです。

○部会長

- ・自転車も考えたほうが良いかなと思います。それは他の部署でされているような計画に絡めて、ポイントになるようなところに僕らが口を出す、ということになると思います。部長がいらっしゃるのでそのあたりの調整はやっていただけたと思います。
- ・他はどうでしょうか。別の観点でも構いません。

○委員

- ・中央公園、せせらぎ公園、どちらが正しいのかわからないのですが、これからお金を取って営利もできるようにしよう、フリーマーケットもできるようにしよう、できたらそれを増やしたいというイメージですね。市民じゃない人間からすると、絹延橋とか日高町と言っても非常にハードルが高い。申し訳ないですが、能勢電というのは妙見山に行く電車というようにみんな思ってしまったので、すごく近くに行ける便利な電車というイメージが実はあまりないのではないのでしょうか。ここでイベント、フリーマーケットがあるとなった時には、例えば自分が出店したとして、ガラガラと荷物を引っ張っていくのはちょっと躊躇するかもしれません。車でしか行けないと思ったりします。ある意味、絹延橋というのは昔からの名前で地元の方はよくわかっているでしょうが、最近では、京阪で神宮丸太町とか祇園四条とか、四条とか丸太町では全然わからないからと、わかりやすく名前を変えられたりされていて、少し助かったというのがあるので、「日高町、キセラ川西公園前です」とか、公共交通でアナウンスが時々ありますね。地下鉄でもバスでもありますが、域外の人にもわかりやすいことを考えていただくことを域外の人公共交通の利用という視点でご検討いただけたらありがたいと思います。

○部会長

- ・そうですね。絹延橋という名前にも歴史がありますが、確かに最初のころに駅の名前を変えるという話もありました。さすがにそれは厳しいという話でした。ただ、駅の名前を変えるといういろいろなものを全部変えなければいけないので、アナウンスではどうかというご提案だと思うので、それはあるかもしれないですね。絹延橋に着いたときに、「キセラ川西直近です」みたいな、ち

よっと織り込んでもらうというのはあるかもしれません。

○委員

- ・複合施設が整備されると、絹延橋から歩いたほうがいかにも正面に公共の施設があって、さらに向こうに開けた公園にあるというようなイメージになっていくのだらうと思います。皆さんにもSNSで発信しやすいような設えにさせていただくとありがたいです。

○部会長

- ・確かに、川西能勢口駅からは、歩くと突然公園がパッと出てくる感じですね。その向こう側に複合施設があるという感じです。

○委員

- ・能勢電鉄さんは結構運行間隔が短いです。何となくそういうイメージがあまりないが、外部の者になると心理的なものがあるので、ご検討いただけたらどうでしょうか。

○部会長

- ・多分、市の北側の人たちが能勢電を使って来てもらって絹延橋で降りて歩いてもらうというイメージです。遠方からだと川口能勢口駅から歩いてもらう感じです。ありがとうございます。そういうのも1つの案だと思います。
- ・他に何かありますか。こんなことをやったら面白そうみたいなことがあればぜひご提案いただければ実現するかもしれません。
- ・公共交通利用促進というのは本当に地道で、一発勝負でガラッと変わればいいのですが、なかなかそういうことはないので、地道にやっていくしかありません。とは言え、節目節目があるので、1つには商業施設がオープンするときのタイミング、その時には基本的に商業施設の設置者が公共交通利用促進の宣伝をやっていくのですが、それに歩調を合わせるような形でキセラのところに来るときには公共交通で、というのを行政でもぜひやっていただければと思います。
- ・自転車は宿題にしておきましょうか。ご検討いただいて、相談していただければ乗りますし、いろいろアンテナを張って、補助金頼みではないですが、いろいろなお金を取ってきて面白いことができるのであればぜひチャレンジしたいと思います。

○事務局

- ・情報があつたらまた逆に教えてください。

○部会長

- ・そうですね。JR、阪急にもいろいろ情報が流れてくると思います。どこかの沿線でこんなことをやってくれないかというのが来た時に、良いところがありますよ、ということで川西市のことを

思い出していただければと思います。ぜひご検討をよろしくお願いします。

③サイン計画の基礎調査

○部会長

・続きまして、「サイン計画の基礎調査」ということで、資料3の説明をお願いしたいと思います。

○事務局

・資料説明（資料3）

○部会長

・ありがとうございます。

・それでは、質問をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

・アンケートは良いのですが、サイン計画にどう活用するのですか。

○事務局

・来訪された方が前後にどの施設に行っているか、どういう回遊行動を多くしているかというところを把握して、例えば中心市街地の施設に行きたいというのであれば、回遊ができるようなルートについて誘導経路を設けるとか考えていきたいと思っています。

○部会長

・ヒアリングで聞くのですか。

○事務局

・ヒアリングで聞いていきたいと思っています。もちろん周辺の施設がわからないといけませんので、1枚調査員に周辺の施設立地の図面等を持たせて、例えばここかここ指さしてもらおうという形で調査員がチェックしていくというのはどうかと思っています。また、公共交通で来られる方、鉄道で来られる方が多いということがわかれば、どこの駅からどのように経路をつなぐとか、またポスターの掲示もどの範囲の駅に撒いたらいいとか、そういったことの検討にもつなげられるのではないかと考えています。

○部会長

・キセラ内から外へ、どこに誘導していくのかというときのサイン計画に回遊行動を把握して使うという話ですね。

・外側のサインはつけてあるのですか。例えば絹延橋に「こちらに行ったらキセラ」とかいうのはありましたか。

○事務局

- ・もともとは、そういうものが必要なのではないかというご指摘を受けてやってきています。ゼロベースで、今は何もありません。
- ・例えば公共施設へのサイン看板はありますよね、総合体育館はこっちとか、市役所はこっちとか、そういう既存の物はあります。ただし、絹延橋駅からキセラへの具体の看板は存在していません。

○部会長

- ・どう考えても作ったほうがいいですよ。さっきの赤い点線を誘導するのであれば、誘導するようなポイントポイントには置いていかなければいけないです。それはしっかりつけるように関係部署に働き掛けましょう。それは土木部でしょうか、道路建設課とかそういうところですか。

○事務局

- ・事務局の説明不足なのですが、それを交通部会の取り組みとして、成果として見ていけないかなというのがあります。

○部会長

- ・わかりました。
- ・サインということで他に何かお気づきの点があればお願いします。
- ・サインのデザインは統一しているのですか。

○事務局

- ・まだこれからです。

○部会長

- ・キセラ内は何のサインもないのでしょうか。

○事務局

- ・一応ロゴマークはあります。

○委員

- ・こういった取り組みを何とか形にしていきたいという思いの中で、交通事業者さんのほうでも観光地等であればいろいろあると思うのですが、そこからアイデア的なもの、こういうやり方があるとか、こうだったら事業者さんのほうで協力できるというのがないのでしょうか。いつも厚かましいお願いで申し訳ないですが、その辺はいかがでしょうか。

○部会長

・いかがですか。何かありますか。

○委員

・ありがとうございます。鉄道事業者として、サイン改良というタイミングで地元の自治体さんや、駅へのヒアリングで、その時にあった公共施設とか、そういうのをサインの中に入れるというのが今のルールです。その中にはバリアフリーの考え、ユニバーサルデザインの考えを最近特に取り入れて、サインマニュアルという物が社内にあるのですが、最近よく変わるといふか、世の中の流れをくんで、お客様に対してわかりやすいサインというようにやっています。ただ、キセラ川西さんを考える際に、いつかサイン改良の時期が来た時に、そこが吊り下げのサインの中に入るかどうかというのは今では判断がつかないところでございます。

○部会長

・阪急さんはどうですか。

○委員

・サインに関しましてはJRさんと同じような思想だと思うのですが、その地域の目印的な施設、そういうのが載っていくのかなとは思っています。

○部会長

・タイミングさえ合わせれば可能性はあるというご回答で理解しました。

○委員

・ありがとうございます。そのサインというのは、例えば駅を降りてすぐ、改札を出てすぐ、そこに設置されたサインは非常に理解しやすいのですが、例えば公園に来られた方が、土地勘のある方は良いですが、初めて来た人が、例えば300m行ったら絹延橋がありますよ、1km行ったらJRがありますよという看板を公園側に上げるということも含めて、という理解でよろしいでしょうか。それとも改札から出たすぐのサインだったら協力できる、という理解で良いのでしょうか。

○委員

・基本は鉄道事業者としては施設を持っている範囲だけというところになります。公園のところまでというのは難しいかもしれません。実際問題として、例えば地下街とか大きなターミナル駅の場合に1つの施設名が変わっていても、いつまでも反映できなくてお客様にご迷惑をかけているケースも多々あります。

○部会長

- ・そこまでは面倒見られないという話ですが、そうですね。

○委員

- ・外から来た人間にすると、駅に着いたらこちらにアステ川西というのがあって、こちらに商業施設がありますが、その向こうに何もない感じがするんですね。多分キセラという名前は、もともと一部の地区の再開発協議会の名前として、愛称でつけたのですが、外側の人からしたら、商業施設のアステ川西、公園と公共施設のキセラ川西だとイメージできれば、非常に僕らとしてはわかりやすいです。駅に市役所まで歩けるのか歩けないのか、距離の看板があって、距離があっても、駅前を通過して、帰りにここでご飯を食べて帰ろうか、みたいなのがあれば非常にありがたいです。わかりやすいと思います。そこまでのレベルにこのキセラというのを持っていくのかいかないのかというのはありますが、どうでしょうか。

○部会長

- ・確かに駅を降りたところにそういうのがあって、キセラというのがそこまできちんと周知されればわかりやすいですね。公園と公共施設があるんだと認識ができるとうれしいと思います。

○委員

- ・多分子どもさんとかも住むまちだと思いますので、子どもさんとか若い方に来てもらいたいというのがあるので、公園とか公共施設は大きなパーツになると思います。商業施設、公園、せせらぎというのが3つあれば非常に認識しやすいです。そこまで行けたらいいし、目指して欲しいと思います。特定の会社とか公共とか、単なる施設のことだけでない、市役所はこちらというのではなく、実際にやらないと難しいかもしれないですね。

○部会長

- ・そこまで認知してもらえるように頑張らなければいけないと思います。
- ・今は駅にせせらぎ公園とかキセラはこっちという看板はついていないんですね。

○委員

- ・ないと思います。

○部会長

- ・阪急にもないですね。

○委員

- ・ないです。

○委員

- ・キセラというのは、自分たちの愛称で、皆さんにわかる愛称になっていないのかなという気持ちもあります。

○部会長

- ・そういうのはヒアリングで聞くのでしょうか。キセラの認知度のように、聞いたほうが良いのではないですか。キセラと聞いても、分からないかもしれません。来ている人が知らなければ、認知度はまだまだ低いということになります。低炭素まちづくりはご存じですか、はありますね。

○委員

- ・キセラ川西は川西市の公園と公共施設の集まったところの愛称です。

○部会長

- ・知りませんだらけになったら、キセラの名前を捨てようとなるかもしれません。これだけキセラ、キセラといろいろなところに書いてあるので、広報誌などに書いてあるのである程度は市内の人に認知度はあるかと思いますが、外側の人は知らないですよね。それはそうだと思います。1つ入れておいたらどうでしょうか。サインにキセラという名前を使うか使わないかというところですよ。
- ・他はどうでしょうか。
- ・サインもデザインは統一したほうが良いですね。あまり下手なのを作ると、立つ瀬がなくなるので、それは少し話をしてもらったほうが良いですね。
- ・公園内のサイン計画は作ってあるのですか。トイレはこっちとか。

○委員

- ・公園の中は配置図があります。

○部会長

- ・あまり矢印を設けるのもどうかというのがありますが、その辺も公園を作るときには考えていると思います。

○委員

- ・あとは、公園も市民さんに主体的に使っていただきたいという思いで、活動プログラムワークショップという使い方のワークショップを27年、28年にやっています。そこで、のんびりチームというグループが立ち上がって、公園を拠点としてハイキングするようなコース、名所を1枚の地図にまとめてくれまして、ここを歩けますよというような地図まで作ってくれています。第2

弾として公園の中に、例えばこっちに行ったら勝福寺というお寺がありますよとか、こっちに行ったら絹延橋の駅がありますよという看板を子どもたちの手で作っていただくというアイデアがあります。ただ、メンバーさんも忙しいというのがあって実現には至っていないのですが、近い将来そういう看板づくり、公園の中での看板づくりというのはやることになっております。以上ご紹介です。

○部会長

- ・ありがとうございます。それぐらい必要だなと、活動されている方からも認識されているということです。
- ・具体的にはこのサイン計画というのはどんなスケジュール感で進める感じですか。

○事務局

- ・資料4のスケジュールのほうのお話だと思いますが、今回アンケートを取って回遊行動と来訪手段を把握して、次回までに分析して、プロットぐらいまではできるのかなとは思っています。完成は来年度末ぐらいを目指して進めていこうと考えております。

○部会長

- ・完成ということは設置ですか。

○事務局

- ・キセラの交通部会の中での完成という意味です。

○部会長

- ・施工はそれ以降ですね。現地に実際にそのサインを置いて作るのは32年度以降ですか。

○事務局

- ・それは調整しなければいけません。

○事務局

- ・今のサイン計画ですが、今回こういう調査をさせていただきまして、そういった中で来年度ぐらいに計画を若干揉んでいきたいと考えています。設置に至りましては、他部署との調整でありますとか、いろいろな問題がございますので、その中で調整をかけて実現性を担保していきたいという形で考えているところでございます。

○部会長

- ・周辺道路の整備をされる際には、そのときにサインを設置したほうが良いと思うので、タイミン

グを逃さずにぜひ、周辺の道路などにもサインを置いてもらえればと思います。

- ・資料3、サイン計画はこのようなアンケートに基づいて今年度分析して来年度検討する基礎資料にしたいということでもあります。

④今後のスケジュール

○部会長

- ・それでは資料4のご説明をよろしくお願ひいたします。

○事務局

- ・資料説明（資料4）

○部会長

- ・ありがとうございます。いかがでしょうか。
- ・併せて自転車のことも入れておいてください。何ができるのか、少し深めましょう。
- ・次に集まるのは年度末ですね。第12回、サイン計画のためのアンケートを取っていただいて、それを分析した結果をご報告いただくのと、公共交通の利用促進というところの確認をさせていただくような形になろうかなと思います。
- ・それでは最後に事務局からご連絡をお願いします。

3. 閉会挨拶

○事務局

- ・事務局から2点ご連絡させていただきます。
- ・1点目ですが、次回の交通部会の開催につきましては、来年の2月から3月ごろを予定しております。また日程等が決定しましたら改めて皆様にご案内をさせていただきます。
- ・2点目でございますが、本日、お車でお越しの方は駐車券をご用意しておりますので、必要な方は事務局までお越しいただきますようお願いいたします。連絡は以上になります。どうぞよろしくお願いいたします。

○部会長

- ・それでは、お忙しいところどうもありがとうございました。これにて交通部会を終わりたいと思います。ありがとうございました。

以上